

<p>教科</p>	<p>美術</p>
<p>目標</p>	<p>ひょうげんおよ かんしやう はばひろい かつどう とおほ そうけいてき みかた かんが かつ はたら せいかつ 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や しやかい なか びじゆつ ぶんか ゆた かんか しつ のうりよく つぎ いくせい 社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成すること を目指す。</p> <p>(1) 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追 求して創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫などについて考え、主題 を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感 じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する 心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。</p>

将来の生活に向けて授業で付けたい力

<p>ひょうげん よろこ ・表現する喜びと、ものの美しさを感じる豊かな情操 ひょうげん ひつよう そうけいざいりやう ようぐ ちしきおよ ぎのう ・表現に必要な造形材料・用具の知識及び技能</p>

関連する行事等

<p>全学年：文化祭（10月） 富山県高等学校文化祭（11月）</p>
--

使用教科書

<p>つくる・見る・学ぶ美術のきほん（日本文教出版）</p>

	月	単元名 (時数)	評価の観点
後期	10月	鑑賞 ・友達の作品 (1)	(主) 友達の文化祭展示作品の中から、構図、色、アイデアなどの観点で、良いところを見付け、観賞カードにまとめる。
		名画の鑑賞 (2)	(知) 世界の有名な絵画について、制作者や時代背景、技法などを知る。 (思) 気に入った作品を一点選び、感じたことや、その作品の良さについて考えをまとめ、発表する。
	11・12・1月	表現技法 ・スクラッチアート (8)	(知) イラストレーションアプリの使い方を知る。 (思) 名画をよく見て下絵に生かす線を選び、丁寧に写し取る。 (思) 画用紙にのりやすい絵の具の柔らかさを理解し、適度な水加減で刷毛を用いてムラなく塗る。 (知) ニードルの種類や削り方のパターンによる表現の違いを知る。 (知) ニードル安全に使用して削る。 (主) 工夫したところや、鑑賞者に着目してほしいところを作品カードにまとめる。
	2月	メディア表現 ・イラストアプリケーションを使ってみよう (2)	(知) イラストレーションアプリを用いた様々な機能や表現方法を 知る。 (主) 他の作品例を参考にしながら、興味をもって活動に取り組む。
	3月	色彩 ・混色 (4)	(思) 水彩絵の具を使って混色し、12色相環を仕上げる。 (主) 色の三原色である赤、黄、青の絵の具を混ぜることで色が変化することに関心をもつ。

学習内容 <美術科 2学年>

	月	単元名 (時数)	評価の観点
前期	4 ・ 5 ・ 6月	りつたい 立休 ・クレヨンでモザイクプレート作り (8)	(主)身の回りの製品の素材やその性質に興味をもって取り組む。 (知)クレヨンの材料とその特徴を理解する。 (知)道具の適切な使用方法を知り、安全面に気を付け使用する。 (思)作品例を参考にしながら、作りたいプレートの絵柄を考えアイデアスケッチを描く。 (思)イメージする色に沿って、クレヨンでモザイクシートを作る。 (思)アイデアスケッチに沿って、モザイクシートやペストを配置して作品を仕上げる。
	7 ・ 9 ・ 10月	かいが 絵画 ・身近な風景を遠近法で描こう (10)	(知)遠近法の基本的な技法を理解する。 (主)友達と共同し、構図や角度を変えながら、身近な風景の写真撮影に取り組む。 (知)下描きした風景画に、色鉛筆や絵の具を用いて色を付け、光や影などを表現する。 (思)手前にあるものと背景との奥行きを考え、絵の具の濃淡や塗り方を工夫して着色する。 (主)工夫したところや、鑑賞者に着目してほしいところを作品カードにまとめる。
	11月	かんしやう 鑑賞 ・美術展の作品鑑賞 (2)	(思)美術展の作品や有名な作品を鑑賞し、作品の面白さや美しさを感じ取り、その内容について自由に発表する。
	12 ・ 1 ・ 2月	デザイン ・コラージュ (6)	(知)コラージュの作品を鑑賞し、組み合わせの面白さやイメージの変化を感じ取る。 (主)面白いと思う素材を見つけて持ち寄り、組み合わせたい素材やパーツを切り抜いて集める。 (思)作品の主題を考えながら、台紙の上でパーツを組み合わせて配置を工夫する。 (主)友達同士で完成した作品を鑑賞し合い、組み合わせの工夫やイメージの違いを見つける。
	2 ・ 3月	はんが 版画 ・消しゴム判子 (5)	(知)カッターの安全な使用方法を守って削る。 (思)インクが付く箇所と付かない箇所を考えながら仕上がりをイメージして削る。 (主)色を変えたり配置を変えたりするなど、パターンの変化を取り入れながら関心をもって活動に取り組む。

学習内容

<美術科 3学年>

	月	単元名 (時数)	評価の観点
前期	4・5月	デザイン ・絵文字をデザインしよう (12)	(知)書体の種類や特徴、与える印象の違いを知る。 (思)文字の意味から連想した形や色を絵に表し、文字と組み合わせさせて絵文字のデザインを考える。 (主)スケッチを基にし、これまで習った技法や画材、配色などを工夫しながら作品を仕上げる。
	6・7月	映像メディア表現 ・写真の表現 (6)	(知)写真を見比べながら、構図や明るさなど写真の撮影に必要な基本知識を知る。 (思)被写体を決めてデジタルカメラ等で撮影し、効果的な表現方法を考えながら、撮影した写真を加工して作品を仕上げる。 (主)他の作品も参考にしながら、撮影や編集に興味をもって取り組む。
	9・10月	版画 ・回転版画 (6)	(知)図形の回転や繰り返し、重なりなどによる画面構成のパターンを知る。 (知)練習用の版で試しに刷ってみることで、回転版画による図形や色の重なり効果を理解する。 (思)ヘラやビンの蓋を用い、スチロール版を凹ませ、画面に絵柄を自由に描く。 (知)回転の方向、インクの量やばれんの力加減を確認しながら作品を刷り上げる。
後期	11月	校内掲示物展示 (2)	(主)鑑賞者の視点に立って、見やすい大きさや位置を考えながら展示物を配置しようとする。
	12・1月	工芸 ・卒業制作 「メモリアルボックス」 (18)	(知)ニードルの種類や削り方の違いによる表現方法を知る。 (知)ニードルを安全に使用して削る。 (思)テーマに合った絵柄を考え、アイデアスケッチする。 (思)作品の仕上がりをイメージしながら、アクリル絵の具や色紙を用いて色をつける。 (主)工夫したところや、鑑賞者に着目してほしいところを作品カードにまとめる。
	2月・3月	絵画 ・友達の似顔絵を描こう (4)	(思)友達の表情やポーズをよく観察しながら鉛筆で人物画を描く。
		鑑賞 ・美術展の作品鑑賞 (2)	(思)美術展の作品や有名な作品を鑑賞し、作品の面白さや美しさを感じ取り、その内容について自由に発表する。